

国際私法

中西 康 = 北澤安紀 = 横溝 大 = 林 貴美

2014年4月刊 / 456頁 / 本体2900円+税
A5判 / 並製



編集 担当者 から

国際私法をはじめて学ぶ人、一通り勉強したがもう一度復習したい人、学部で国際私法を学んでいる人、司法試験の選択科目で国際私法を選択した人、涉外弁護士を目指す人、実務で涉外事例の案件を扱っている実務家や企業法務の人など、様々な読者層のニーズにかなうように、小活字、コラムなどを用いて工夫した、極めてわかりやすい概説書です。

国際私法分野で知りたいことがこれ一冊ですべて理解することができます。通読することもできますし、部分的に知りたいところだけ抽出して読むこともできます。

いわゆる法適用通則法が制定されてから、はじめての本格的な教科書です。国際私法の総論・国際民事手続・人・契約・物権・知的財産・家族法などが網羅的に書かれています。

執筆者は4人いますが、各自の原稿を持ちより、お互いが忌憚なく意見を言い合って、修正・調整していただきました。その際、極力、著者独自の見解は避け、スタンダードに徹するように心がけました。そのため、あたかも単独著のような読みやすいスタイルになっています。(1)

Index

I

コラムや判例の引用等、あらゆるツールを駆使しています。目次(体系)はオーソドックスな構成になっています。

第1編 序論

- 第1章 国際私法の意義
- 第2章 国際私法の性質と考え方
- 第3章 国際私法の基本理念と正義
- 第4章 法源

第2編 総論

第1部 準拠法選択

- 第5章 古典的・伝統的方法による規律の全体像
- 第6章 法律関係の性質決定
- 第7章 連結点
- 第8章 反致
- 第9章 準拠法の指定
- 第10章 外国法の適用
- 第11章 外国法の適用排斥——公序
- 第12章 先決問題・適応問題
- 第13章 国際的な強行法規
- 第14章 涉外実質法・統一法

第2部 国際民事手続法

- 第15章 国際裁判管轄
- 第16章 外国判決の承認執行

第3編 各論

第1部 国際財産法

- 第17章 自然人・法人
- 第18章 契約
- 第19章 法定債権
- 第20章 債権法上の諸問題
- 第21章 物権
- 第22章 知的財産権

第2部 国際家族法

- 第23章 婚姻
- 第24章 親子
- 第25章 氏名
- 第26章 後見・失踪宣告
- 第27章 扶養
- 第28章 相続